



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2024年9月 第163号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2024~2025 年度 主題

長野クラブ会長	(代行) 福島貴和	「出会いの種を育み咲かせる」 Let Our Seeds Bloom
あずさ部長	ピーター・マウントフォード (甲府)	「めあて 望み」
東日本区理事	山田公平 (宇都宮)	「ワイズの方向性を見極める」 Our Future Direction
アジア地域会長	ジョアン・ウォン (香港)	「大きなインパクトを起こそう」 Make a Great Impact
国際会長	A. シャナヴァスカン (インド)	「共により良い世界のために」 Together for a Better World

今月の聖句

「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。」

(新約聖書 ヨハネによる福音書 17 章 21 節)

2024 年 9 月 例会案内

- 日時 2024 年 9 月 18 日 (水) 18:30~20:30
- 会場 レストランやま 380-0834 長野市問御所 1315

例会進行：

- | | |
|----------------------|--------|
| ・開会点鐘 | 会長 |
| ・ワイズソング、ワイズの信条 | |
| ・聖書朗読、祈祷 | |
| ・会長あいさつ | |
| ・ゲスト、ビジター、キャンディデイト紹介 | 書記 |
| ・卓話 | |
| ・ワイズディナー | 食前の祈り： |
| ・諸報告・諸連絡、ハッピーバースデー | |
| ・ニコニコ献金、会員一言 | 会計 |
| ・YMCA の歌 | |
| ・閉会点鐘 | 会長 |

★★ 巻頭メッセージ ★★

長野クラブもキックオフ例会にあずさ部長のピーター・マウントフォードさんをお迎えし、ゲストに大野勉さん（神戸ポートクラブ）ZOOM ゲストに山田公平理事、大和田浩二書記をお迎えし、富山クラブの川渕映子会長にネットで卓話をお願いして、能登半島地震の被災地へ留学生とユースを送る手だてを共有するという画期的な例会を開催することができました。当初予定の福島ワイズのお寺から倉石ワイズのお宅に移動しての開催になりましたが、青山会長と湯田書記の連携で一同たっぴり、じっくり卓話を伺うことができました。他クラブの卓話に参加させていただいたり、講座参加により僅かながら募金協力出来たり、今後ネットを活用して、活動を広げて行きたいものです。（森本紀）

8 月のデータ

会員数	7 名
例会出席者数	6 名
ゲスト	なし
ビジター	なし
例会出席率	85.7%
メーキャップ	なし
修正出席率	85.7%
%	
ニコニコ献金	7,000 円
(Youth For NOTO に献金)	

8 月例会 集合写真



9 月ハッピーバースデー
倉石 美津子さん 9/1
森本 俊子さん 9/21

会長 (代行) 福島 貴和
書記 (代行) 倉石 美津子
会計 堀内 雅俊
連絡先 森本 俊子 (庶務)
tokoton921@gmail.com

留学生による能登半島地震のボランティアワーク 写真で見る“YOUTH for NOTO”



2024/9/7(土) 穴水町陸上競技場のグラウンドに設営した
仮設住宅で活動するボランティア拠点「ボラまち亭」

仮設住宅。隣は県立穴水高校
近くに文化センターの銭湯もあります
今は週末ごとにイベントが催されます



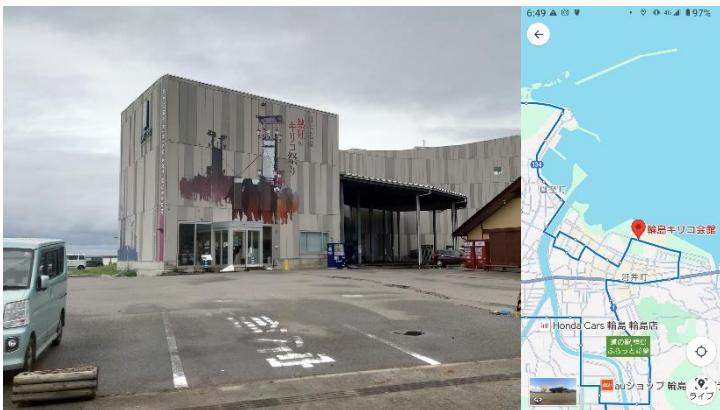
ロコモチェックタイム



留学生の出身国紹介タイム

ミニフリーマーケットも大人気

※ロコモ：立つ・歩くができなくなる運動機能障害のこと



9/8(土) 輪島朝市エリアの隣にあるキリコ会館
ここにも隣に大きな仮設住宅があります

仮設住宅の住民の皆さんに声をかけていく
今日は毎月のパン・野菜無料配布と、
衣料品・日用品のフリーマーケット



パン・野菜無料配布は大人気
毎月しているので定着している
開始直後に長蛇の列



ロコモチェックの後に交流
「いつまでも自分の足で歩かなくちゃね」



留学生の出身国紹介
中国・四川の大地震を
能登に重ねて共感



輪島市へ向かう道路
応急補修してあるが
段差でガタガタのまま



輪島朝市通り方向を見れば
まだ更地の状態
でも、報道によると、
9月中に朝市再開の予定



倒壊したまま放置されている
家屋が多い



報道もされた、輪島市中心街のビルの倒壊



国道の信号も傾いたまま



9/9(月)穴水町社協で災害ボランティア登録
これから被災家屋の片付けに向かう



作業開始
手分けして軽トラに積み込む



積み込み作業
炎天下の重労働です



作業後の集合写真

山梨YMCAだより

思い出から続く未来へ

総主事 中田 純子

暑さが少しずつ和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。今年の夏も、皆様のご協力により、多くの子どもたちに素晴らしい思い出を残すことができました。

この夏、多彩なプログラムが企画・運営され、子どもたちは様々な体験を通じて、多くの思い出を作ることができました。特に、ワイズメンズクラブの皆様には、恒例のふくろうキャンプでの昼食のカレーや唐揚げを子どもたちと共に作っていただき、人にとって大切な食を共にしていただき、大変感謝しております。自然の中でのびのびと過ごす子どもたちは、昨年よりも成長している姿が見られ、毎年行うことの意味を実感いたしました。また、大きなスイカの提供により、日頃なかなかできないスイカ割りを楽しむことができ、子どもたちにとって特別なごちそうとなり、笑顔が絶えないひと時でした。さらに、暑い夏を乗り切るための手作りうちわをご提供いただき、子どもたちが思い思いの絵を描いて、夏の風物詩を楽しむことができました。

甲府21ワイズメンの鎌田様には、戦争のお話会でのご協力をいただきました。お話を通じて平和の重要性を学ぶ貴重な機会となり、子どもたちの真剣な姿勢や「折り鶴」の歌声に深い感動を覚えました。8月のYWCA主催のピースフェスティバルを通じて、子どもたちに平和の重要性を学ぶ機会が用意され、世界中の異なる文化や歴史を学び、互いの違いを尊重することの大切さを感じながら、音楽やアートを通じて平和のメッセージを表現し、一人ひとりが輝くことができる世界の実現を目指していきます。

また、今年の夏は世界パリオリンピックに注目が集まった夏でもありました。笑顔あふれる選手、泣き崩れる選手、また年齢問わず幅広い層の参加がありさまざまな表現が見られました。多くの人に勇気と力を与えたのは間違えありません。オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々がつながる平和の祭典です。選手たちの努力と情熱は、多くの子どもたちに夢や希望を与えるものでした。山梨YMCAも、平和を表現できる時のために、子どもたちのより良き成長とチャレンジ精神の育成を目指しています。

これらの経験は、ただの思い出ではなく、未来に向かう大切なステップとなります。私たちが一緒に作り上げたこの夏の思い出が、子どもたちの未来に向かう力となり、より豊かな未来を築くための礎となることを願います。

主な記念例会、行事などの予定

- 9/21(土) 甲府21クラブ9月恒例「ぶどう棚下例会」
- 9/28(土)～29(日) 第20回富士山例会(富士五湖クラブ)
- 9/28(土) 東京Yインターナショナルチャリティーラン
- 10/12(土) 第90回神田川船の会(東京グリーンクラブ)
- 10/19(土) あずさ部大会(ホスト:甲府クラブ)**

※会場は石和温泉です。皆で参加しましょう!

- 10/26(土) 東京八王子クラブ設立30周年記念例会
(※ご都合つく方はぜひ参加しましょう!)

☆☆甲信プロジェクト通信☆☆

留学生による能登半島地震のボランティアワーク

“Youth for NOTO”

以下の日程で、現地で活動を行いました。

- ◎日程 2024年8月17日(土)～19日(月)
2024年9月7日(土)～9日(月)

◎場所 穴水町、輪島市

◎メンバー 信州大学の留学生

健康科学大学の日本人学生

8月は松本クラブ部大和田さんが、9月は大和田さんと湯田の2名が、運転手、引率を担当しました。以下、湯田の参加した9月の報告です。

～～～☆～～～

①活動内容

9月7日(土) 穴水町陸上競技場に設営された仮設住宅を訪問。ミニフリーマーケット、留学生の出身国紹介、健康科学大学学生のロコモセルフチェック方法紹介、住民の方々との交流。

9月8日(日) 輪島市朝市通りに近い仮設住宅を訪問。キリコ会館で行われる毎月のパン・野菜無料配布とフリーマーケットに参加、ロコモチェック紹介と留学生出身国紹介、住民との交流。

9月9日(月) 穴水町災害ボランティア登録をして、町内の被災家屋の片付けを手伝い、軽トラに積み込んだ災害ごみを町の仮集積場に搬入。

②現地の様子

被害の爪痕は8ヶ月経った今もまだ大きく残っています。一方、報道によれば9月には輪島朝市も再開されるとのこと、街は少しずつ復興に向けて進んでいる様子です。しかし仮設住宅が今も増設されていることを思えば、住民の方々にとって復興はまだ先が見えない状態ではないかと感じました。

③活動を終えて

ボランティアとしてまだまだできることがたくさんあり、現地で活動している方々とも力を合わせて、また活動したいと思いました。

④長野クラブから献金しました。

なお、7月・8月の長野クラブ例会で集められたニコニコ献金16,100円を、餞別としてYouth for NOTOに献金しました。(湯田勝彦 記)

編集後記

▼Youth for NOTO、実際に現地に行って活動し、仮設住宅の方々と交流し、また被災状況、今の街中の様子を自分の目で見て、復興にはまだまだ遠くても一歩ずつ前に進んでいることを知り、隣人としていつも思いを寄せていたいと思う。栄村にまた行きたい(湯田)